



環エネ第1480号
令和2年(2020年)1月24日

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構
理事長 児玉 敏雄 様

北海道知事 鈴木 直道

「令和2年度以降の幌延深地層研究計画(案)」について(回答)

令和元年8月2日付け令01原機(幌)037及び令和元年12月6日付け令01原機(幌)060により協議申し入れのあった「令和2年度以降の幌延深地層研究計画(案)」については、受け入れることとします。

合わせて、研究計画の推進に当たって、次の事項を実施すること。

記

- ・ 今後とも「三者協定」に則り研究に当たること
- ・ 9年間の研究期間を通じて必要な成果を得て研究を終了できるよう取り組むこと
- ・ 研究の実施主体として責任をもって計画に即して研究を進めること
- ・ 安全管理に関する情報や埋め戻しの考え方など、道民の皆様の不安や懸念の解消につながる情報について、あらゆる機会を通じ、分かりやすくかつ丁寧に提供すること
- ・ 研究の実施状況を分かりやすく説明できるよう、今後の研究の工程表を整理し公表すること
- ・ 道及び幌延町が三者協定に基づき毎年度開催する確認会議において、年度毎の計画や実績のみならず、研究に対する評価やその他研究の推進に関することについても報告するとともに、地域での説明会等で積極的に情報発信すること

(担当部署)

経済部産業振興局環境・エネルギー室
調整グループ

電話 011-204-5318 (ダイヤルイン)

FAX 011-222-5975